

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

(経営学専攻 博士前期課程)

(社会人入試・秋実施)

## 小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

次の2問に答えなさい。

- 問1. 「代表性ヒューリスティック」と「利用可能性ヒューリスティック」について、例をあげながら簡単に説明しなさい。また、これらを利用する消費者の特徴を示し、こうした消費者に対するマーケティング・インプリケーションを提案しなさい。
- 問2. 誤った理解（誤認）とは何かを定義したうえで、それらが生じる理由を知覚プロセスの観点から、理論的に説明しなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

経営学専攻 博士前期課程 <学内進学（第1回）>

## 小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

ソーシャルイノベーションやソーシャルインベストメントは、欧米を中心に社会的課題の解決を目的とした投資・事業活動として注目を集めている。ソーシャルイノベーション/ソーシャルインベストメントと、一般のイノベーションの違いについて論じなさい。また、欧米で発展してきたソーシャルインベストメントの仕組みを日本に導入し普及させるために、どのような制度的・文化的・経済的課題が想定されるかを論じなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

経営学専攻 博士前期課程 <学内進学（第1回）>

## 小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問1) プロダクト・サービス・システム (Product-Service Systems) とは何か、概要を説明しなさい。

問2) プロダクト・サービス・システムの分析枠組みを用いることで、製品だけの分析とはどのように異なる分析ができるのか、その異なる分析をする意義も含めて論じなさい。

問3) プロダクト・サービス・システムによって環境負荷軽減を実現するビジネスの事例を1つ挙げ、製品とサービスをどのように組み合わせるとどのように環境負荷を軽減するのか、具体的に説明しなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

経営学専攻 博士前期課程 <学内進学（第1回）>

## 小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問1 近年、日本では企業の非財務情報開示が進められています。非財務情報を開示することのデメリットについて、できるだけ簡潔に論じなさい。解答にあたっては、あなたが見聞きして知っている企業の事例を用いても構いません。

問2 企業の利益情報の価値関連性を検証する方法を1つ取り上げ、できるだけ簡潔に説明しなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

(経営学専攻 博士前期課程)

(社会人入試・春実施)

小論文

---

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

コーポレート・ブランディングの(1)機能あるいは役割、(2)現状、(3)問題点や可能性について論じてください。  
なお(1)～(3)は、それぞれ独立して記述してください。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

(経営学専攻 博士前期課程)

(社会人入試・春実施)

## 小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

以下の問題1から問題3のすべてに答えなさい。

### 問題1.

流通（流通システム）に課された社会的役割とは何か。また、その役割はどのようにして遂行されるか。以下の語句をすべて用いて説明しなさい。

[語群] 懸隔（隔たり）、流通機能、流通フロー、経済循環、流通機関、流通助成機関

### 問題2.

サービスを流通の客体としてとらえるためには、どのような前提が必要となるか。従来の流通論・商学における議論や民法による定義・解釈を踏まえて説明しなさい。

### 問題3.

欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の都市の内部では、ジェントリフィケーション(gentrification)と呼ばれる現象が顕著に観察される。ジェントリフィケーションとはどのような現象であるかを簡潔に説明したうえで、この現象に対するあなたの見解を具体的に述べなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

経営学専攻 博士前期課程 <学内進学（第2回）>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

次の5問のうち、3つを選択して解答しなさい。解答の際には必ず問題番号を書くこと。

問1 以下で貸借対照表を示しているA社とB社は、X1年3月期の当期純利益が共に20億円であった。X1年3月期の当期純利益とX1年3月期末の時点の純資産を用いてX1年3月期のROE（自己資本利益率）を計算する場合、A社とB社のROEの差異が生じた理由について論じなさい。

① A社のX1年3月期の  
貸借対照表

資産 500	負債 250
	純資産 250

② B社のX1年3月期の  
貸借対照表

資産 500	負債 400
	純資産 100

(単位：億円)

問2 当座資産について説明しなさい。また、当座資産の金額と流動負債の金額はどのような関係になっていることが望ましいか。説明しなさい。

問3 利益調整 (Earnings Management) と粉飾決算による利益操作との違いを、例を挙げながら説明しなさい。

問4 企業が営業利益を計上している一方で経常損失を計上している場合、企業はどのようなことを行っている可能性が考えられるか。例を挙げながら、できるだけ具体的に説明しなさい。

問5 企業がESG情報を開示することのメリットを、できるだけ簡潔に論じなさい。